

NPO法人鹿児島技術士の会第1回環境部会設立準備委員会議事録

平成20年8月30日

設立発起人前田美樹朗

田ノ上春雄

1. 日時：平成20年8月30(土)10:00~13:00

2. 場所：鹿児島市ボランティアセンター(4階フローホール)

3. 議題：平成20年度活動計画について

(1) 自己紹介・環境部会への思い

参加者：前田、田ノ上、狩集、山路、上野、岸野、田中

(2) 環境部会設立準備委員会の方向性

1) 活動テーマ

地球温暖化防止対策(緩和策と適応策)・低炭素社会の実現 循環型社会の形成

2) 実行方針

行政・市民・NPO・産学官等と連携協働しながら調査研究や提案、支援活動の実践

3) 特徴

NPO法人は多いが、専門家が合流した集団は他にない・・・大きな特徴

開発と環境が対決するような事例に対しても、専門家が合流した技術者集団として、トレードオフを解決していく議論ができる可能性を秘めている。

4) 具体的内容

他のNPO法人とは異なり2つの活動テーマに係る分野に関して専門技術者集団として、他のNPO法人などの活動を専門的な立場で支援していく活動を推進していく。

部会には、テーマ毎にプロジェクトチームを作って取り組む方向性も検討する。そこに技術士以外の専門家や興味のある人を引き込んでいく。

NPO法人の財政基盤にもなる活動として、専門技術を生かして、国が進めている中小企業等が取り組む1)の活動テーマに関連した事業に対する支援事業にも取り組む。この事業へは、国からの活動費が充てられており持続可能な活動が継続してできる礎になる。

国が進める収入が見込める事業例

経済産業省の産業クラスター制度への専門家としての支援

環境省が推進する国内排出量取引に関してCO2排出削減アドバイザー(技術士が対象)としての活動及びアドバイザー育成支援事業など

情報発信活動も重要である。例えば、リサイクルや低炭素社会実現に向けての専門家としての提言発表、講演会活動、草の根教育の実践も検討する。

新しい技術を開拓した人や関わった人を表彰する制度ができないか研究したい。

短期間で成果を出すのは難しい。緩やかな息の長い活動で社会貢献を目指したい。

地球温暖化防止対策の緩和策と適応策についての調査・研究として、具体的には、強暴化する気象外力に対するインフラの適応策の調査・研究も実施していきたい。

3) 組織について

環境部会設立準備委員会委員長・・・前田美樹朗を選任

環境部会設立準備委員会副委員長・・・田ノ上春雄を選任

来年度は、部会として、認められるよう努める。

#### 4)今年度の取り組み

今年度は、2)で示した方向性を持って研究していく期間として位置づけ、個別テーマは定めず、年度内には、来年度の部会設立に向けて、個別テーマを含めて活動内容を決めていくこととする。

#### 5)その他、

環境部会設立準備委員会立ち上げを記念した講演会を講演会事業と位置付けて取り組むこととする。

期日：平成20年11月8日(土)14:00~17:00

会場：鹿児島県民交流センター

講師：斎藤清美(九州環境技術研究所：工学博士・技術士)

演題：九州の環境資源と新しい環境技術のパラダイム

環境立国に向けた技術開発の動向

後援：鹿児島県技術士会、鹿児島県測量設計協会、日本技術士会を予定

共催：鹿児島県建設コンサルタント協会を予定

規模：50名程度